

0歳から18歳までの一貫教育のまち 『おおつち一貫教育推進』かわら版 大槌町は、教育を「つなげる」「ひろげる」まちです。

令和6年9月5日(木) No.24
文責
教育委員会学務課 吉田 智

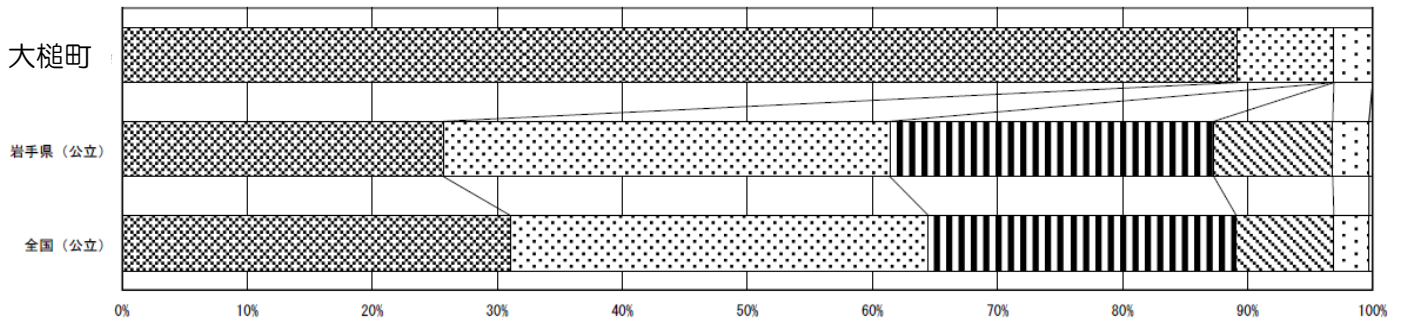
○全国学調質問紙調査において、6年生が国・県を大きく上回る

先日、全国学力状況調査の結果が発表されました。大槌町の子供達の結果を見て驚嘆したのが、6年生の質問紙調査の結果です。なんと約7割の項目で、強い肯定的な回答率が国・県を上回っていました。その要因を、昨年度5年生を担当した大槌学園の佐々木敬祐先生に聞いてみると下記の3点をあげていただきました。

- ・担任が互いに、授業観を共有できるよう話し合いを重ねた。
- ・大人が楽しく教えていたので、子供達も楽しくできたのではないかな。
- ・9月まで学年を3つの習熟度に分けて授業を進めたこと。図工、家庭、体育を担当が専科で指導したこと。理科を副担が専科で教えたこと。音楽を専科の先生が教えたことがよかったのではないかな。

先生方が協働して子供達を育てたことで、大きな成果につながったようです。

また、6・9年生共にICT活用の項目について、強い肯定が国・県を上回る回答が多く、ICTを毎日活用することで、大槌町の子供達の学びが充実していることがわかりました。

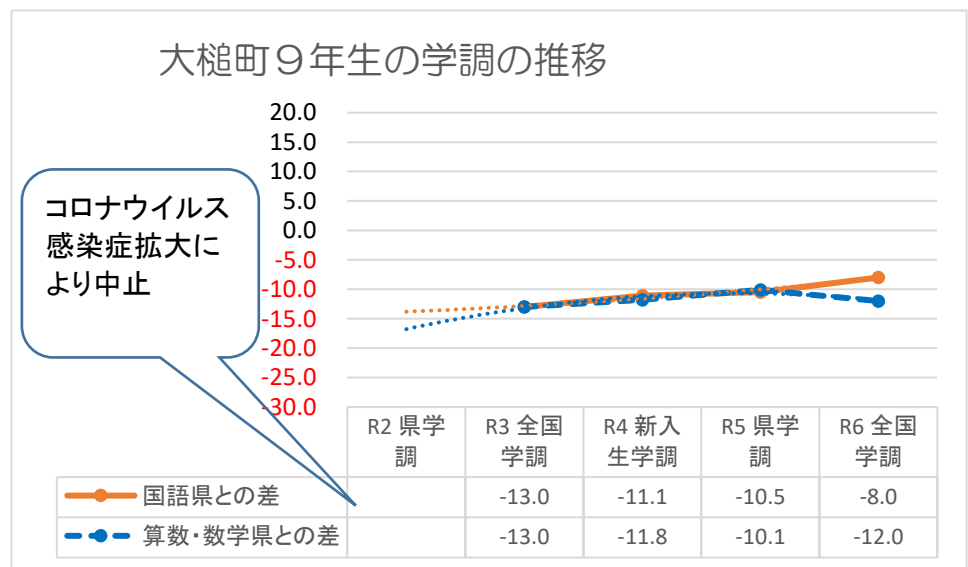


「7,8年生で受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか」 **ほぼ毎日 89.2%**

○大槌町学力調査と全国学調の結果を授業改善にどう生かすか

大槌町の子供達の学習の定着状況には、大きな課題があることは明らかですが、これまで大槌町の先生方が取り組んでくださった大槌型の授業スタイルの定着や不断の授業改善によって、確実に学力が向上しています。

特に、9年生の国語は、6年生の全国学調のときの結果より+5ポイントも上昇しました。



今回も「大槌町学力調査」、「全国学調」等の結果を授業改善にどう生かすかがポイントになると思います。子供達の「気づき」を生かした「課題設定」、「学び合い」、終末の「まとめ」、「振り返り」をすることで、子供達が主体となる学びが実現できると思います。また、新たに「個別最適な学び」である「単元内自由進度学習」と「協働的な学び」を一体的に充実させて、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指す試みを来年度に向けて進めたいと考えています。